

【案】

令和 2 年 2 月 28 日

当別町長 宮 司 正 毅 様

当別町総合計画審議会
会長 黒 澤 隆 夫

新しい当別町総合計画(素案)について (答申)

令和元年 10 月 9 日付け当企総第 166 号で諮問のありました「新しい当別町総合計画(素案)」について、当審議会で慎重に審議を重ねた結果、別添「当別町第 6 次総合計画(案)」をもって、かつ、次の意見を付して答申します。

記

- 1 当別町第 6 次総合計画(案)の推進にあたっては、次の事項を十分に尊重すること。
 - (1) 現状及び課題を明確にしたうえで、より効果的な方策を検討し本計画全体を着実に推進すること。そのため、町民及び町職員が一体となって、本計画推進の担い手であることの認識を深めるための取り組みを行うこと。
 - (2) 町内の資源を最大限に活かして人口減少等の困難に立ち向かうため、庁内部局間の連携及び町内外の官民の多様な機関の連携を強化すること。そのため、町職員一人一人が連携を実現するための調整役として機能し、町民の主体的な取り組みを支援するよう努めること。
 - (3) 本計画の推進における町職員の役割は極めて重要であり、町職員は町の大切な資源である。町職員一人一人が自らの資質をより一層高めていくこと。
 - (4) 計画の進捗を継続的かつ実質的に確認し、不断の見直しを行いながら具体的な取り組みを実行していくこと。
- 2 グループインタビューやパブリックコメント等の意見については、内容を十分精査し、各施策への反映に努めること。また、重要なプロジェクトの具体的な推進にあたっては、町民等の意見を十分に聞くことに配慮し、留意の上、取り組むこと。

以上